

令和6年第1回定例会

一般質問通告書（質問事項要旨）

令和6年 3月22日
3月25日（3日間）
3月26日

南風原町議会

目次（一般質問日程表）

	議席番号	氏名	頁	質問日
1	11番議員	新垣 善之	1	3月22日（金）
2	13番議員	照屋 仁士	2	
3	10番議員	大城 勇太	3	
4	12番議員	金城 憲治	4	
5	15番議員	知念 富信	5	
6	2番議員	大城 重太	6	3月25日（月）
7	6番議員	大城 雅史	7	
8	3番議員	當眞 嗣春	8	
9	7番議員	岡崎 晋	9	
10	4番議員	西銘 多紀子	10	3月26日（火）
11	5番議員	伊佐 園恵	11	
12	8番議員	大宜見 洋文	12	
13	9番議員	石垣 大志	14	
14	14番議員	浦崎 みゆき	15	
15	1番議員	玉城 陽平	16	

令和6年3月13日作成

□ 新垣善之 議員

1. 地域防災力を問う

【 町長 】

- (1) 自主防災組織結成に向けての取り組み状況はどうなっているか。
- (2) 梅雨時期の河川氾濫対策は万全か。今後の河川浚渫予定はあるか。
- (3) 昨年、宮平川兼城交番付近で道路の冠水があったが、対策はできているか。

2. 福祉施策の現状を問う

【 町長・教育長 】

- (1) 次年度の保育士確保と保育対策総合支援の財源確保はできているか。
- (2) 学童クラブの待機児童は解消できるか。
- (3) 女性が活躍できるリスキリングの取り組みはあるか。
- (4) 交通弱者支援の町交通戦略の現状はどうなっているか。
- (5) 次年度の町社会福祉協議会への補助金は、委託事業や人件費など確保できたか。

3. 北丘小学校正門の改良を

【 教育長 】

- (1) 通学時の正門は、車両の出入りが激しく、児童の安全通行に支障がある。正門横のフェンスを通用口として改良・開通できないか。

4. 公園、道路整備を問う

【 町長 】

- (1) 次年度の津嘉山公園と津嘉山中央線街路、町道10号線の整備事業の進捗を問う。
- (2) 沿道景観について、雑草の繁茂を抑える手立てや街路樹等の適正管理の計画はあるか。

□ 照屋仁士 議員

1. 南風原町をブランディングせよ

【 町長・教育長 】

(1) 「ともにつくる黄金南風（こがねはえ）の平和郷（さと）」という将来像・キャッチフレーズがある。この意義や意味は職員、町民に浸透しているか。

(2) 南風原町のイメージカラーやブランドロゴ、ブランドミッションを作成してはどうか。

(3) ブランディングを行政施策に反映させることで、職員の企画力を高め、町民に信頼と安心感を与えてほしいがどうか。

2. 台湾有事と自衛隊配備への見解は

【 町長 】

(1) 台湾有事への町長の認識と見解を伺う。

(2) 先島だけでなく、沖縄本島への自衛隊配備強化について賛否がある。町長の認識と見解を伺う。

3. 町民体育館の計画を見直せ

【 町長・教育長 】

(1) 町民体育館の必要性に疑問の声がある。充分に必要性を担保すべきだが、「必要性について議論はしない」という認識は変わらないか。

(2) 町民体育館の採算性に疑問の声がある。P F I可能性調査を含め、採算性は証明されたか。

(3) 公共施設の建設には莫大な予算がかかり、またそれを補うために有利な財源が活用されてきた。これまでの公共施設新設（※直近から）の総事業費、建設費、用地取得費、主な財源をしめせ。

※ちむぐくる館、中央公民館、翔南小学校、陸上競技場、南星中体育館、北丘小体育館ほかを想定。

(4) 町民に十分な理解が得られるまで、町民体育館の建設計画は見直すべきではないか。

□ 大城勇太 議員

1. 黄金森公園の再開発を

【 町長 】

(1) 町民体育館建設と合わせてPARK-PFIを活用し黄金森公園の再開発ができないか。

- ①野球グラウンドを硬式・軟式使用にできないか。
- ②避難施設としての設備はどのようなものがあるか。
- ③キャンプ施設整備の検討ができないか。
- ④黄金森公園内にもカフェ施設等の検討があるか。

(2) 町民体育館建設に地下避難施設の検討はあるか。

(3) 町民体育館建設は当初の計画と変わりはないか。

2. 町独自のラジオ番組を

【 町長 】

(1) ワイドFMを活用し南風原町に町独自のラジオ番組開設で防災等にも活用できないか。

3. 部活動外部委託について

【 町長 】

(1) 来年度の計画の進捗状況を伺う。

(2) 町内スポーツ活躍者を起用できないか。

□ 金城憲治 議員

1. 本町の幼児教育と保育について

【 教育長 】

(1) 本町における幼児教育と保育をどのように考えているか伺います。

(2) 認定こども園について本町の見解を伺います。

2. 本町の防災教育について

【 教育長 】

(1) 本町の幼稚園、小中学校において防災教育の実施状況を伺います。

(2) 本町の小中学校において、防災教育に取り組むことはできないか伺います。

(3) 本町として防災キャンプの実施ができないか伺います。

□ 知念富信 議員

1. 照屋地区土地区画整理事業を問う

【 町長 】

(1) 組合設立後に実施設計、造成工事施工に着手すると思われるが、現在の進捗状況を伺う。

(2) 本町も下水道事業等、インフラ整備の予算はどうなっているか。

(3) 事業者の構成員に変更はあるか。

2. 津嘉山公園を問う

【 町長 】

(1) 公園広場は防球ネットが設置されていないが、対策を取るべきではないか。

(2) ボールが道路に飛び出したことによる事故の責任はどうなるか。

3. 沖縄県工芸振興センター跡地周辺の開発を問う

【 町長 】

(1) 全面的開発で事業者誘致をされていると思いますが進捗状況を問う。

□ 大城重太 議員

1. かすりロードの補修と活用について

【 町長 】

(1) かすりロードの補修が必要と思われるポイントが数カ所あるが、点検等の道路管理は行われているか。また、補修は可能か。

(2) 南星中の裏門からデームイモーにかけてのかすりロードにはいつも土が堆積しているが、対策はできないか。

(3) デームイモーもかすりロードの散策ルートになっているが、手すり腐食してグラついている。散策する際に危険だが補修できないか。

(4) かすりロードを観光資源としてより一層活用するため、桜の木を植樹したり、イルミネーションやライトアップをしたりするなど、文化と感動の融合で広域的な観光名所を生み出せないかと思うがどうか。

2. 水路の上部利活用について

【 町長 】

(1) 町内を通る水路で、上部に蓋をして転落防止や公園、道路等にして土地の有効活用をする暗渠方式で整備されている水路はあるか。また、今後整備が予定されている水路はあるか。

(2) 住宅街に水路が多く通る照屋区においても暗渠方式は有用である。特に照屋コミュニティセンター前の広場の横を通る水路を活用できれば広場の面積も広がり、利用価値も高くなると思うがどうか。

□ 大城雅史 議員

1. 津嘉山公園の利用者の安心・安全について

【 町長 】

(1) 現在の公園管理について問う。

(2) 公園のゴミ問題について問う。

(3) トイレの利用時間について問う。

(4) 遊歩道にブルーシートのかけられた場所があり、焼けたようなあとがある。そのようなことから現在の防犯体制について問う。

2. 町内中学校の部活動指導員について

【 教育長 】

(1) 教職員の働き方改革に伴い本町内の中学校の部活動指導員の役割について問う。

(2) 部活動指導員の全体の普及率について問う。

(3) 生徒が専門的な指導が受けられる点もメリットと思うが、指導者より練習時間が少なく、練習時間を確保出来ないとの声がある。現状の学校側の練習時間の体制を問う。

(4) 部活動指導員の報酬については、令和6年度より会計年度任用職員の扱いになるとの事。兼業にて指導をする方もいると思うが、これまでのように制限なく部活動指導員として携われるのか問う。

3. 津嘉山小学校の通学対応策について

【 教育長 】

(1) 徒歩登校が推奨されていることはわかるが津嘉山小学校周辺の朝の時間帯の交通渋滞については、中々改善されていない。児童も増えており雨が降ると送迎の車で周辺が大渋滞する。津嘉山全域を考えるとスクールバス等の運用も有効だと考えるが見解を問う。

□ 眞嗣春 議員

1. 辺野古新基地建設について

【 町長 】

(1) 先の12月議会で町長は新基地建設の賛否について、「国の安全保障上の問題もあるため私が意見を述べる立場にない」と答弁しましたが、町長の選挙公約に反することにならないか見解を伺う。

(2) 「意見を述べる立場にない」ということは、新基地建設「賛成」と解しているか。

(3) 新基地建設「反対」が「賛成」変わった真意を伺う。

2. 教育行政について

【 教育長 】

(1) 学校教育法施行令第8条に基づく「通学指定変更」の申請件数を伺う。
健全者（ ）人 身体的障害者（ ）人

(2) 同規則33条に基づく、本町「指定校変更許可基準」の策定年月日を伺う。

(3) 本町「指定校変更許可基準」に身体的理由、身体的障害等の区分がないのはなぜか伺う。

(4) 本町「指定校変更許可基準」に身体的理由など許可条件も加えるよう要望するが見解を伺う。

3. 「学校施設環境改善交付金」「緊急防災・減災事業債」について

【 町長 】

(1) 「学校施設環境改善交付金」と「緊急防災・減災事業債」の目的と内容について伺う。

(2) 上記の財政処置を活用した、本町小中学校の体育館整備事業等の計画はないか伺う。

(3) 気候変動による地球の温暖化や頻発する豪雨災害、能登半島での地震など、体育館は災害時の避難所として活用されることから空調設置が急がれます。早い段階での空調設置の検討が求められるが、どうか。

□ 岡崎晋 議員

1. 町民体育館建設計画を問う

【 町長 】

- (1) P F I 導入可能性調査の結果はどうか。
- (2) 町民体育館と周辺整備の計画の規模と予算はどうか。
- (3) このうち本町が負担するのは何割でいくらか。
- (4) 維持運営のための町民負担はどうか、町民に示せ。
- (5) 用地面積は何坪で、取得費用は合計いくらか。また、地権者は何人で、全員が同意しているか。
- (6) 用地取得は先走りでないか。

2. コロナ予防接種について問う

【 町長 】

- (1) 4月から本人負担はどうか。
- (2) 本町の今後のコロナ対策を問う。
- (3) 本町は町民の生命と健康を守るため、接種費用を助成すべきでないか。

3. 会計年度任用職員の勤勉手当を問う

【 町長・教育長 】

- (1) 支給対象となる人数は合計何人で、本庁舎と学校等各施設の内訳人数はどうか。
- (2) 支給対象とならない職員はいるか。
- (3) 人事評価はどう実施され、本人にどうフィードバックされ、支給額に反映されるか。
- (4) この勤勉手当の財源は国からどう措置されるか。

4. 校区見直しについて問う

【 教育長 】

- (1) 校区見直しの結果、どうなったか。
- (2) 見直しで通学距離が遠くなる子ども達は何名いるか。
- (3) 見直しで通学距離は最大で何メートル遠くなるか。

□ 西銘多紀子 議員

1. 車イス児童の指定校変更について問う

【 教育長 】

(1) 車イス児童の指定区域である学校の校内在り坂や階段の多い場合に指定校変更はできないのはなぜか伺う。

(2) 合理的配慮義務が必要と考えるがどうか。

(3) インクルーシブ教育について研修等の機会はあるか伺う。

2. 畜産農家への支援について伺う

【 町長 】

(1) 畜産業の厳しい経営状況続く中、町として新年度からどのような支援を考えているのか伺う。

3. 高齢者の外出支援について伺う

【 町長 】

(1) 現在、本町において高齢者の外出支援はどのようなものがあるか伺う。

(2) 他市町村の取り組みについて、情報収集等はどのように行っているか伺う。

□ 伊佐園恵 議員

1. 女性活躍推進をするか伺う

【 町長 】

(1) 女性活躍推進班を創設してほしいがどうか。

(2) 月経が始まって必要とする女性へ、吸水ショーツ、1人1回のみ1,000円を支給してほしいがどうか。

(3) 自治会評議員に女性を増やすよう促してほしいがどうか。

2. 少子化対策にどのような工夫をしているか伺う

【 町長・教育長 】

(1) 本町は少子化傾向にあるか伺う。

(2) 保護者支援にはどのようなメニュー実施しているか。

(3) 子育てを終えても住み続けられる町、持続可能な町としての工夫を問う。

(4) 卵子の老化など、体についての学習の機会を広報に、特集を載せてほしいがどうか。

3. 中央公民館活用を活性化せよ

【 教育長 】

(1) 9時から19時、研修室が利用されていない時間を学習室として活用してほしいがどうか。

4. 附属機関の委員会選出は公平に行われているか

【 町長・教育長 】

(1) 教育委員会、社会教育委員会、農業委員会の平均年齢を伺う。

□ 大宜見洋文 議員

1. 次年度の待機学童について

【 町長 】

(1) 次年度、学童クラブの待機学童は解消されるか。

2. 不登校児童生徒について

【 教育長 】

(1) 今年度の不登校児童生徒数は。

(2) 本町独自の支援体制により、他の自治体よりもきめ細かい支援が実施されていると考えるが、どうか。

3. 町民体育館について

【 町長 】

(1) 町長は、何を実現するために町民体育館を建てるのか。

(2) アリーナと体育館の違いは何か。

(3) アリーナに係る建設費はいくらか。

(4) アリーナで開催するイベントは、具体的にどういう内容で年に何回を想定しているのか。

(大宜見洋文議員 一般質問)

4. 公共交通について

【 町長 】

(1) これまで実施してきたタクシーチケット、運転手不足で、利用し辛くなっていないか。

(2) 南城市は、既に自走バスの実験まで実施し、北谷町も先月の報道で、「レベル4」に向けた実証実験を行うそうだが、本町で、実験に取り組めない理由は何か。

(3) 佐賀県では、乗合バスに無料で乗車出来る実証実験を行い、前年比2.2倍の利用実績との事。本町もその取り組みを調査研究すべきではないか。

5. 農福連携について

【 町長 】

(1) 行政が積極的に後押しを始めた自治体も現れ始めたが、本町は以前の答弁「相談があれば、国の担当部局に繋ぐ」のままなのか。

6. 持続可能な開発目標に向けて

【 教育長 】

(1) 「ユネスコSDG'sパスポート」とは何か。

(2) 本町でも活用されているか。

□ 石垣大志 議員

1. 河川氾濫対策について問う

【 町長 】

(1) 宮平川の内水氾濫対策について伺うが、先の調査結果の中で5000立米の雨水量を貯留する必要性が確認できたと考えるが、過去の答弁では令和6年度に実際の調査設計をし、具体的な対策検討に入るとの答弁であった。現在の検討状況について伺う。

(2) 宮平川につながる国場川も含め、河川の容量確保が重要になると考えるが、今後の取り組みについて伺いたい。

2. 子どもの居場所づくりについて

【 町長 】

(1) 本町の放課後児童クラブの現在の状況について伺うが、放課後児童クラブの学年別、小学校区別の利用率と利用希望率、待機児童数について伺いたい。

(2) 本町放課後児童クラブの適正かつ円滑な入所事務を図ることを定めた基準が策定できないか。

(3) 放課後子ども教室の現在の状況について伺うが、放課後子ども教室の学校別、学年別の利用児童数について伺う。

(4) 子どもたちの居場所づくりに関し、現在の課題と今後の取り組みについて伺う。

3. 北丘小学校体育館改築工事について

【 教育長 】

(1) 現在の進捗状況と進捗率、工事完了の見通しについて伺う。

(2) 請負業者や学校長との協議連携について伺うが、必要な時期に必要な指示、要望等、情報共有や連携はとれていたか。

(3) 過去の一般質問で同工事による運動場仮設トイレの設置について要望をしたが、工事期間の延長による検討状況について伺いたい。

□ 浦崎みゆき 議員

1. **がん患者アピアランスケア支援事業について**

【 町長 】

(1) 本町において、アピアランスケアに対して相談実績はあるか。

(2) 申請の仕方はどのようになっているか。

(3) 豊見城市では支援事業展開にあたり、アピアランスケア事業記念セミナーとして開催し、好評であったと聞く。本町での開催の見解を伺う。

2. **教育行政について**

【 町長 】

(1) 本町の「がん教育」について、小学校、中学校の状況はどのように行われているか。

(2) 学習指導要綱に基づく「がん教育」は健康と命の大切さについて学ぶことが目的である。外部講師を活用して取入れることは出来ないか。

3. **動物との共生社会について**

【 町長 】

(1) 本町の「さくら猫」活動の状況を伺う。

(2) 「さくら猫」のボランティア団体に対する本町の見解並びに方向性を伺う。

(3) 与那原町の広報誌には「さくら猫事業報告」としてTNRの実績値と共に猫エピソードが掲載され町民にPRされている。本町にも取入れることが出来ないか。

(4) 本町の道路での動物の死骸処理はどのように行われているか伺います。

4. **自主防災組織活動推進について**

【 町長 】

(1) 本町の自主防災組織の目指すべき姿はどのようなものか。

(2) 自主防災の目指すべき姿を可視化することが出来ないか。

(3) 防災士は自主防災組織の司令塔的役割を担うものである。防災士取得にかかる受験料の助成が出来ないか。

□ 玉城陽平 議員

1. 同性パートナーシップ制度について問う

【 町長 】

(1) 沖縄県が同性パートナーシップ制度の導入の方針を示した。本町における検討状況はどのようになっているか。

(2) パートナーシップ制度の導入によって、どのような課題の解決が図れるか、見解を伺う。

(3) 今後の本町の方針を伺う。

2. 不登校対策、学びの多様化について問う

【 教育長 】

(1) 本町の小・中学校の長期欠席者数、不登校児童生徒数の推移と見解を問う。

(2) 教室外登校、部分登校など、いわゆる「不登校傾向」にある子ども達の実態把握は行なっているか。

(3) 不登校の拡大への対応として公的支援の拡充、情報提供の充実を求めるがどうか。

(4) 学校毎、教員毎での対応にばらつきが発生しないよう教育委員会として方針を示すべきではないか、見解を問う。

(5) 公的支援だけでは届けきれない支援もあると考える。フリースクールなども含めて民間の取り組み支援、連携を求めるがどうか。

(玉城陽平議員 一般質問)

3. コミュニティ・スクールについて問う

【 教育長 】

(1) コミュニティ・スクールの設置の前提となる本町の問題意識と期待する成果を問う。

(2) 今後の具体的なプロセスとそのスケジュールを問う。

(3) 各学校の学校運営協議会と地域学校協働本部の位置付けの整理、協議会の委員の人材選定はどのようになるか。

(4) 社会教育士や地域学校協働推進員などを増やしていくことで学校側、教育委員会側での推進体制を拡充していくことが必要と考えるが見解を伺う。

(5) 「学校を核とした地域づくり」を進めていく上で、地域の側にも推進役となる人材が必要になる。地域人材の発掘・育成についての見解を問う。

4. 文化芸術政策を問う

【 町長・教育長 】

(1) 本町の文化芸術政策について、文化団体の支援・リスト化、各文化ジャンルにおけるアーティストのリスト化、若手の発掘、文化活動への参加の促しなど、現状の取り組みを問う。

(2) 部活動の地域移行の議論の中で、「地域文化倶楽部（仮称）」の設置に向けた取り組みがある。本町の検討状況を問う。

(3) 文化芸術に関する取り組みは保健・福祉・医療分野と連携したものも多く、介護予防としての「通いの場」などが目指す社会的孤立への対策としても注目されている。本町の見解を伺う。

(4) 音楽、演劇、ダンス、美術などの文化芸術により多様性の理解促進が期待される。本町の地域コミュニティをより充実させ、包摂的な地域社会にしていくためにも重要な施策であると考えられるがどうか。